



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場取引所 東名

上場会社名 リンナイ株式会社

コード番号 5947 URL <http://www.rinnai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 瀬瀬 泰生 TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	254,672	4.7	24,868	△4.5	26,344	△3.7	16,690	△2.1
29年3月期第3四半期	243,347	2.8	26,047	△2.3	27,343	△2.7	17,052	△3.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 21,135百万円 (106.3%) 29年3月期第3四半期 10,245百万円 (0.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	322.75	—
29年3月期第3四半期	327.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	415,060	300,162	67.8
29年3月期	404,325	290,638	67.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 281,230百万円 29年3月期 272,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	42.00	—	44.00	86.00
30年3月期	—	44.00	—		
30年3月期(予想)				46.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	345,000	4.5	34,000	△0.2	35,500	0.6	22,300	△0.1	431.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	51,616,463 株	29年3月期	52,216,463 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	216,290 株	29年3月期	215,317 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	51,714,274 株	29年3月期3Q	52,002,257 株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成30年2月7日(水)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州では緩やかに景気が回復しており、中国では経済成長率が高水準であるなど全体的に好調に推移しました。また国内経済においても、企業収益の改善や個人消費が持ち直すなど回復基調が続きました。

国内の住宅設備業界は、新設住宅着工戸数において持家や貸家が前年を割るものの、低金利の住宅ローンを背景に分譲住宅が好調であることに加え、安定的な機器の買替えも底堅く、順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「進化と継承 2017」の最終年度にあたり、企業文化や精神を継承するとともに、社会に役立つ新しい商品やサービスを創出するためのビジネスモデルを進化させるべく事業活動を進めてまいりました。販売面につきましては、中国やアメリカでの給湯器販売が順調であったことで増収となりましたが、損益面では、原材料費が増加したことに加え、国内で高付加価値商品が伸び悩んだことなどによって、当社グループの営業利益は減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,546億72百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益248億68百万円（前年同期比4.5%減）、経常利益263億44百万円（前年同期比3.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益166億90百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

〈日本〉

テーブルコンロの市場縮小やビルトインコンロでの競争激化によってコンロの販売数が低下していること、一部の販売ルートで給湯器の売上が減少したことなどによって、日本の売上高は1,396億35百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は原材料費の増加により152億81百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

〈アメリカ〉

住宅設備関連の市場が順調に推移する中、利便性の高いタンクレス給湯器の販売が好調であり、さらに高効率タイプが伸長するなど、アメリカの売上高は198億19百万円（前年同期比21.3%増）、営業利益は15億4百万円（前年同期比24.1%増）となりました。

〈オーストラリア〉

主力となるタンクレス給湯器の販売が好調に推移したことに加え、ダクト式冷暖房システムやエアコンといった空調分野の売上也伸長し、オーストラリアの売上高は181億69百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は17億52百万円（前年同期比35.6%増）となりました。

〈中国〉

ガスインフラの拡大や生活水準向上により給湯器の販売が好調であったことに加え、政府における寒冷地での環境政策である石炭からガスへの燃料転換推進によってボイラーの売上が増加したことで、中国の売上高は309億28百万円（前年同期比20.2%増）となりました。営業利益は現地通貨ベースでは増加しましたが、人民元安の影響により25億39百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

〈韓国〉

小規模集合住宅の新築増加や買替えの需要増によってボイラーの販売が好調であったことで、韓国の売上高は241億37百万円（前年同期比5.8%増）となりましたが、テーブルコンロ販売での競争激化や原材料費の高騰などによって営業利益は1億65百万円（前年同期比51.7%減）となりました。

〈インドネシア〉

テーブルコンロの市場において買替需要が少しずつ顕在化してきたことで当社テーブルコンロの売上が回復し、インドネシアの売上高は87億79百万円（前年同期比6.4%増）となりましたが、原材料費の高騰により営業利益は13億12百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

## (参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第3四半期累計期間 (平成28年4月1日 ～12月31日)		当第3四半期累計期間 (平成29年4月1日 ～12月31日)		増 減		前期 (平成28年4月1日 ～平成29年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
給湯機器	135,050	55.5	144,582	56.8	9,532	7.1	188,202	57.0
厨房機器	67,814	27.9	67,237	26.4	△576	△0.9	88,456	26.8
空調機器	14,124	5.8	15,095	5.9	971	6.9	17,952	5.4
業用機器	6,737	2.8	7,238	2.8	500	7.4	9,122	2.8
その他	19,621	8.1	20,518	8.1	897	4.6	26,521	8.0
合 計	243,347	100.0	254,672	100.0	11,324	4.7	330,256	100.0

## (参考2) 海外売上高

	前第3四半期累計期間 (平成28年4月1日～12月31日)			当第3四半期累計期間 (平成29年4月1日～12月31日)		
	アジア	その他の 地域	計	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	68,693	40,307	109,000	76,034	46,227	122,262
II 連結売上高 (百万円)	—	—	243,347	—	—	254,672
III 海外売上高の連結売上高に 占める割合 (%)	28.2	16.6	44.8	29.9	18.2	48.0

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ107億35百万円増加し4,150億60百万円となりました。また、負債は12億12百万円増加し1,148億98百万円となり、純資産は95億23百万円増加し3,001億62百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は67.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

海外子会社の業績は順調でしたが、原材料費が想定以上に高騰したことに加え、国内において最需要期に期待された主力商品の販売が伸び悩み、当社グループの業績は予想を下回る見込みとなりました。最近の業績状況等も踏まえて、平成29年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

## 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 340,000	百万円 37,000	百万円 38,000	百万円 24,000	円 銭 461.53
今回修正予想 (B)	345,000	34,000	35,500	22,300	431.82
増減額 (B - A)	5,000	△3,000	△2,500	△1,700	—
増減率 (%)	1.5	△8.1	△6.6	△7.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	330,256	34,056	35,280	22,322	429.27

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	115,225	111,237
受取手形及び売掛金	62,547	68,851
電子記録債権	7,540	8,617
有価証券	8,563	15,584
商品及び製品	24,839	29,187
原材料及び貯蔵品	13,963	15,646
その他	5,973	5,576
貸倒引当金	△982	△1,231
流動資産合計	237,671	253,469
固定資産		
有形固定資産	78,175	82,971
無形固定資産	6,853	6,410
投資その他の資産		
投資有価証券	59,725	49,976
その他	22,281	22,621
貸倒引当金	△382	△389
投資その他の資産合計	81,624	72,208
固定資産合計	166,653	161,590
資産合計	404,325	415,060
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,205	22,073
電子記録債務	33,891	33,038
未払法人税等	6,012	4,177
賞与引当金	4,290	2,135
製品保証引当金	3,952	4,159
その他の引当金	544	692
その他	20,671	25,026
流動負債合計	91,568	91,303
固定負債		
環境対策引当金	2,255	2,255
その他の引当金	85	164
退職給付に係る負債	9,484	10,134
その他	10,292	11,040
固定負債合計	22,118	23,594
負債合計	113,686	114,898
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,756	8,756
利益剰余金	247,327	254,311
自己株式	△1,007	△1,859
株主資本合計	261,536	267,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,883	6,530
為替換算調整勘定	3,047	3,804
退職給付に係る調整累計額	3,310	3,226
その他の包括利益累計額合計	11,241	13,561
非支配株主持分	17,860	18,931
純資産合計	290,638	300,162
負債純資産合計	404,325	415,060

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	243,347	254,672
売上原価	162,675	170,892
売上総利益	80,672	83,780
販売費及び一般管理費	54,624	58,911
営業利益	26,047	24,868
営業外収益		
受取利息	685	686
受取配当金	455	498
為替差益	—	79
その他	628	505
営業外収益合計	1,769	1,769
営業外費用		
支払利息	27	4
為替差損	135	—
固定資産除却損	157	99
その他	153	190
営業外費用合計	473	294
経常利益	27,343	26,344
特別利益		
受取保険金	—	291
収用補償金	253	—
特別利益合計	253	291
特別損失		
段階取得に係る差損	137	—
特別損失合計	137	—
税金等調整前四半期純利益	27,459	26,636
法人税、住民税及び事業税	7,407	7,900
法人税等調整額	771	△57
法人税等合計	8,179	7,842
四半期純利益	19,280	18,793
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,228	2,102
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,052	16,690

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	19,280	18,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	942	1,649
為替換算調整勘定	△9,754	774
退職給付に係る調整額	△222	△82
その他の包括利益合計	△9,034	2,342
四半期包括利益	10,245	21,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,355	19,011
非支配株主に係る四半期包括利益	△109	2,124



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オースト ラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	141,112	16,343	16,727	25,732	22,812	8,252	230,981	12,365	-	243,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,809	-	40	1,268	1,133	477	25,730	2,171	△27,901	-
計	163,922	16,343	16,768	27,001	23,946	8,729	256,711	14,537	△27,901	243,347
セグメント利益	16,805	1,212	1,292	2,664	343	1,363	23,681	2,040	325	26,047

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オースト ラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	139,635	19,819	18,169	30,928	24,137	8,779	241,471	13,201	-	254,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,280	-	92	1,361	1,108	461	27,304	2,071	△29,376	-
計	163,916	19,819	18,262	32,290	25,246	9,240	268,775	15,273	△29,376	254,672
セグメント利益	15,281	1,504	1,752	2,539	165	1,312	22,556	2,078	233	24,868

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。